

保健所の専門職に聞いてみた 暮らしに役立つ健康情報「医師」編



みなさん、ご存じでしょうか。保健所長は公衆衛生、予防医学の視点に立って地域住民の健康を支える行政職の医師で、公衆衛生医師と呼ばれています。
本誌では公衆衛生医師である保健所長から暮らしに役立つ健康情報をお届けします！



公衆衛生医師はどんな仕事をするのですか？

地域住民の健康増進や健康危機管理に関わる様々な業務に従事しています。

感染症対策、生活習慣病・がん予防や健康づくり、母子保健、精神保健、難病対策、医療安全、食品や飲料水の安全確保などの保健分野に加え、地域包括ケアや子育て支援などの医療や福祉の分野の施策にも関わっています。



暮らしに役立つ健康情報を教えてください。

がん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん）を定期的に受診し、早期に適切な治療を行うことによって、がんによる死亡リスクを減少させられることが分かっていますが、多くの方ががん検診を受けていないため、助かるはずの命が失われているのは残念なことです。
職場でがん検診を受ける機会のない方は、市の実施するがん検診を是非受けてください。（日程等詳細については各市のHPをご覧ください。）



【この記事に関する問合せ先】市町村連携課企画調整担当

2025年7月発行 登録番号(7)1
編集・発行 東京都多摩立川保健所 市町村連携課 企画調整担当
東京都立川市柴崎町2-21-19 ☎042-524-5171(代表)
印刷 株式会社モモデザイン
東京都杉並区今川 3-20-10

